

道路情報板制御システムの統合ソリューション

道路情報板MC統合のご提案



県域に整備された道路情報表示板を一元的に管理し、表示情報の共有や一括制御等統合的な運用を可能とするため、土木事務所ごとに導入されている道路情報板主制御装置(MC)の統合をご提案いたします。

現状構成の問題点とご提案

問題点① 土木事務所単位に構築されているため、他土木事務所管轄の道路情報板の状況や県庁から県域の道路表示板の**全体把握ができない**。

ご提案① MC統合による**全体の「見える化」**

問題点② アナログ回線によるポーリング（順番に電話をかける）方式で制御しているため、緊急を要する**情報を一斉に配信できない**。

ご提案② IP化による**「迅速化」**

問題点③ 担当者が判断した情報を手入力を中心に構成が設計されており、津波情報や気象情報と**連動した自動制御ができない**。

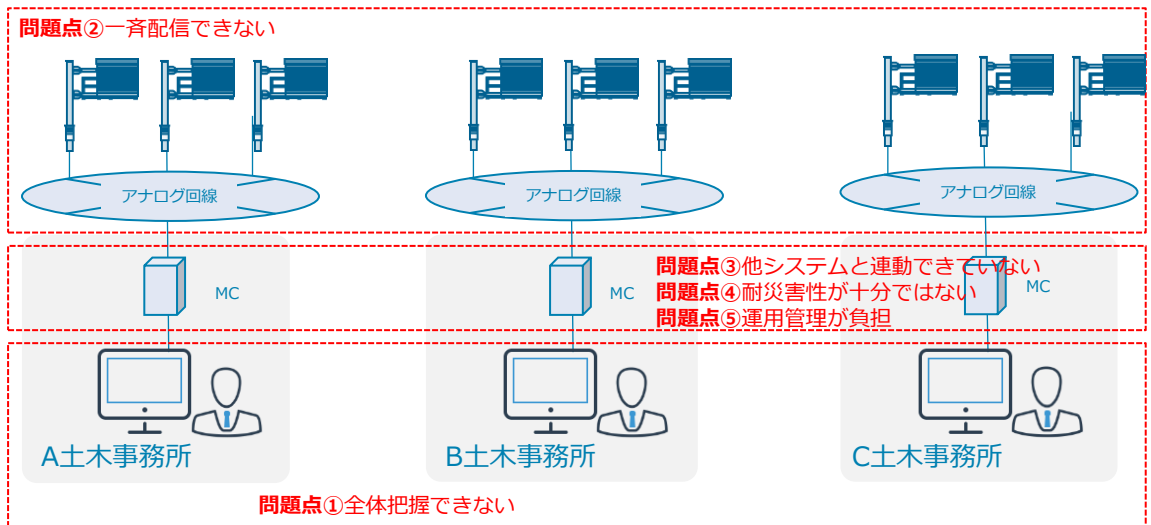
ご提案③ 気象情報提供システム等と**連動した「高度化」**

問題点④ シングル構成で構築されており、故障時には機能停止を伴うため**耐災害性が十分ではない**。

ご提案④ 耐災害性を向上する**「冗長化」**

問題点⑤ 土木事務所毎にシステム運用が発生し、土木事務所毎に管理をする担当を配置する**負担を軽減できない**。

ご提案⑤ 集中管理による**「負担軽減」**



ご提案内容とシステム構成

見える化

県内全域の道路情報板の把握・制御



県内全域の道路情報板の一元把握、制御ができるようにするため、各土木事務所のMCを廃止し、県庁に機能集約（新MC）します。

迅速化

IP網への回線切替による道路情報板制御の迅速化



重要拠点の道路情報板を一斉制御できるようにするため、アナログ回線からIP網への切替を実施し、制御の迅速化を実現します。

高度化

他システムとの連携による、より高度な道路情報板制御



さまざまな危険からドライバーを守るため、他システムと連携し、道路情報板の高度化を実現します。

（例）気象業務支援センターとの連携し津波情報を自動表示 等

冗長化

冗長構成によるサービス継続



MCの耐災害性を高めるため、ネットワーク部、制御部を冗長構成とします。また、大規模災害時のリスクヘッジとして、バックアップMCの導入も可能です。

負担軽減

各土木事務所のシステム運用・管理負担軽減



システム運用・管理負担を軽減するため、各土木事務所のMCを廃止し、県庁に機能集約（新MC）します。

システム構成

